

車体

NEWS

AUTUMN 2025 秋

JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.



EXEO WING Pro Edition
(詳細はP.25を参照)

CONTENTS

巻頭言	2
NEWS特集	
カーボンニュートラル対応 第17回	3
コンプライアンス優先経営の徹底 第1回	4
NEWS FLASH	
本部だより	5
部会だより	6
支部だより	7
官公庁だより	8
会員情報	10
NET WORK vol.120	
新生自動車工業(株)	11
VOICE STAGE 108	
(株)シー・エス・シー	13
セーレン(株)	14

そこが知りたい 第67回	
「バイオエタノール燃料」	15
働くクルマたち 第50回	
「高性能林業機械(フォワーダ)」	17
COFFEE BREAK	19
いどばた会議 第23回	
「私のSDGs Part14」	21
我が社の元気人	23
DATA FLASH	
2025年度4月～7月 会員生産状況	24
編集後記	25



皆様の安全安心のため、社会に貢献します



消防ポンプ自動車の製造・販売・サービス

消防署や消防団等に使いやすい車両の提供並びにアフターサービスの迅速対応をモットーに、市民生活の安全・安心に貢献すべく日々活動しています。

納入実績 東京消防庁、全国の消防署・消防団・空港・自衛隊等

GM いちはら工業株式会社



本社工場：栃木県鹿沼市縦山町上原 267

TEL: 0289-64-1511 FAX: 0289-64-1514

URL: <https://www.gmichihara.com/>

副会長就任にあたって

副会長 石川 洋之

トヨタ自動車東日本(株)・代表取締役社長



本年度より、車体工業会の副会長、並びに環境委員会と広報委員会の委員長を拝命いたしました。会員企業の皆様の、日頃の活動へのご理解とご協力に対し、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、当会を取り巻く環境に目を向けますと、近年の国内商用車市場全体が伸び悩む厳しい状況の中、会特有の非量産車は2023・2024年度と2年連続での増加であったものの、今年度4～7月累計で前年度比98.6%と、足元では鈍化の傾向がみられます。

また、世界各地では紛争や保護主義の台頭など混沌とした情勢が続き、日本でも人件費や物価の高騰、金利上昇のほか、米国関税交渉動向なども加わり、ますます先行きの不透明感が増している状況です。

このような環境の中、当会は「自動車車体産業の発達、産業経済の発展と国民生活向上に寄与」という活動指針の実現に向け、ガバナンスと活性化を基盤として、本部委員会と部会・支部の2本柱で、以下の重点取り組み6項目を、中小規模会員の皆様に寄り添った活動となるように進めてまいります。

- ①カーボンニュートラル
- ②安全への取り組み
- ③環境への取り組み
- ④中小企業支援活動
- ⑤活性化活動
- ⑥ガバナンス強化・高付加価値化

私が委員長を務めます委員会の一つ、環境委員会においては、CO₂低減に向けた活動として、

- ① CO₂排出量の内訳分析による進捗状況の把握
- ② 把握した状況を基にした部会・支部とも連携した訪問支援活動

③ 会員の皆さんに活用いただくための「儲かる すぐできる 誰でもできるカーボンニュートラル」の事例集の発信などを推進していただきました。

引き続き、未来を担う世代への「大人の責任」を果たすべく、1社でも多くの仲間づくりを進めるとともに、より深化した取組みの実現に向けた情報展開にも取り組んでまいります。

また、従来より取り組んできたリサイクル設計や廃棄物低減の調査も一層推進してまいります。

広報委員会においては、会員の皆様が当会ホームページを通じ、カーボンニュートラルの「正しい理解」と推進をしていただけるよう、事例や補助金などのコンテンツの充実とホームページの周知を推進していただきました。

引き続き、会員の皆様の役に立つ・使いたくなるホームページの実現に向け、コンテンツの更なる充実と利便性の向上に取り組んでまいりますので、ぜひ一度アクセスをしていただき、ご活用いただければ幸いです。また、デジタル技術を活用した「より魅力的な機関誌」の検討も推進してまいります。

会全体運営においては、前会長の増井さんに強力に推進いただいた「工業会改革」をはじめとする諸活動についても、新会長の富山さんをお支えしながら、引き続き推進してまいります。

特に、2025年度のトピックとしては、ジャパンモビリティショー2025(10月30日～11月9日)があります。「見たい、知りたい、楽しい」展示をコンセプトに、当会も出展予定です。会期中の10月31日に当会秋季会員大会も開催予定ですので、併せてのご参加をお待ちしております。

末筆となりますが、会員の皆さまとのご縁を大切に、ご指導・ご協力を賜りながら、共に汗をかき、一緒に歩んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

カーボンニュートラル対応 第17回

今回から全4回シリーズで、カーボンニュートラルについてのコラムをお届けします。

地球温暖化やCO₂削減の取組みをわかりやすく紹介し、未来の地球を守るためにできることを考えていきましょう。

地球温暖化とカーボンニュートラル

1. 地球温暖化とは？

CO₂などの温室効果ガスが増えると、地球の熱が大気にももりやすくなります。

平均気温が上がると、猛暑・大雨・台風などの異常気象が増え、

海面上昇や生態系への影響も現れます。



身近な影響の例

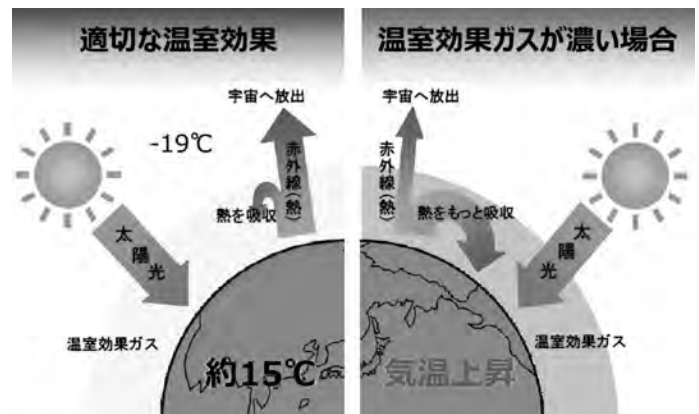
- ・夏の熱中症リスク増加
- ・大雨や台風による洪水被害
- ・農作物や生態系の変化

2. カーボンニュートラルとは？

出すCO₂と吸収・削減するCO₂を

プラスマイナスゼロにすること。

森林や新技術(CO₂回収・CCUS)でバランスをとります



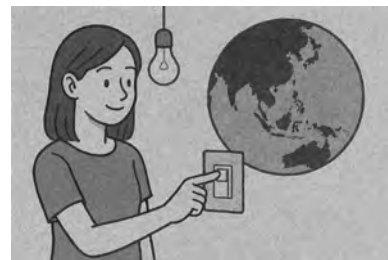
3. 地球温暖化とカーボンニュートラルの関係

- ・温暖化の原因 = CO₂増加
- ・カーボンニュートラル = CO₂増加を止める方法

カーボンニュートラルを進めることが、地球温暖化を止める近道です。

4. 私たちにできること

- ▶ 自転車や徒歩で近くへ行く
- ▶ 照明をこまめに消す
- ▶ ゴミを減らしてリサイクル
- ▶ 地元でとれた食べ物を選ぶ
- ▶ 木を植えたり、森を守る活動に参加する



5. まとめ

- ・地球温暖化は、CO₂など温室効果ガスが原因で進む
- ・カーボンニュートラルは、CO₂を増やさないための行動
- ・2050年のカーボンニュートラル達成で、未来の地球を守る

次号(#2)予告

日常生活でできる

CO₂削減の工夫を紹介します

CN専用ホームページ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望やお気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>



CO₂排出量調査(2024年度実績)へのご協力依頼 (会員の皆様へ)

2050年のCN達成に向け、当会も2030年に向けたCO₂排出量の目標値を掲げ、会員の皆様の排出量、省エネ量等の実態把握を行い、エネルギー削減につながる活動を進めて参ります。

以下項目のご提出をお願いいたします。

<調査項目>

- | | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| ① エネルギー調査(2024年度実績) | ② CO ₂ 削減内容報告(2024年度実績) |
| ③ 省エネ・CO ₂ 削減量報告 | ④ CN取組み目標アンケート |

コンプライアンス優先経営の徹底 会員各社による独占禁止法対応に向けた活動紹介

第1回

中央業務委員会

中央業務委員会では、当会会員各社における独占禁止法(以下：独禁法)遵守を促進する社内風土(独禁法に関する知識や感覚が高く、法令違反のリスクに事前に気づき、必要に応じて専門家へ相談できる風土)造りをサポートする活動を、今年度から行っています。

本活動の一環として、公正取引委員会ホームページ(以下：公取委HP)を紹介しします。公取委HPには、独禁法や中小受託取引適正化法(旧名：下請法)に関連する様々な資料が掲載されています。

①各種パンフレットやチラシ(例：知ってなっとく独禁法、1分で分かる！独禁法、等)

②相談事例集(事業者や事業者団体の活動に対する公取委による判断事例)

是非、社内教育・風土醸成へのご活用をご検討ください。

出展：公取委HP 独占禁止法
<https://www.jftc.go.jp/dk/>



①各種パンフレット



②相談事例集

キーワードやジャンル別検索可



<https://www.jftc.go.jp/houdou/panfu.html#cmsdk>



<https://www.jftc.go.jp/dk/soudanjirei/>



【製造業】

<https://www.jftc.go.jp/dk/soudanjirei/index/sangyoubunrui/seizou.html>



公取委相談先

<https://www.jftc.go.jp/soudan/jizen/>



■相談役会を開催

2025年度より、位置づけを『総会決議事項の事前諮問』から『新会長と相談役との関係性構築』へと見直して、8月6日に当会会議室にて対面での会合を開催した。

当日は、宮内・増井両相談役と富山新会長による相互理解を深めるための自己紹介から始まり、続いて、事務局による諸活動の紹介を行った。その後、本年度特に注意を払って取り組むべき課題について相談を行い、両相談役よりご自身の豊富な経験にもとづいた忌憚のないアドバイスをいただいた。

■理事会メンバーによる工場見学会

7月18日に理事・監事12名で、中京車体工業(株)(愛知県豊明市)、(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント(愛知県東海市)の見学を行った。

本見学会は、部会間の相互理解活動として従来から行ってきた机上での活動の深化版とし、今年度より輪番制で部会長会社を現地現物にて見学していくこととし開始した。

その第1回目として今回は特種部会森部会長の中京車体工業(株)を訪問した。併せて、特種部会所属で、地理的に近い(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメントの見学も併催した。

中京車体工業(株)では、2022年5月に愛知県豊明市に本社を移転した真新しい工場を見学することができた。新しい建屋は屋根裏断熱材+断熱外板を導入することで労働環境(熱中症対策)にも配慮されており、当日は曇り空だったが、建屋内外での体感温度差は明確であった。

会社概要、製品紹介における若手によるプ

レゼンテーションは大変新鮮で、知恵を絞り使いやすい治具工具や棚などの自作から始まり、部品構成表の導入など幅広い分野で取り組まれている業務改善を紹介いただいた。



若手担当者による钣金工程説明



貨客両様車両のデモカー見学

工場見学では、5Sの行き届いた大変きれいな工場を、工程ごとに若手社員による説明が行われ、若手社員がいきいきと仕事をしている雰囲気が伝わるものであった。

3月の技術発表会で発表のあった、貨客混載車両のデモカー、大規模な試作車両、車いす移動車等の製造工程を見学し、お客様のニーズを反映したクルマ作りの現場は参加者にとって大変勉強となった。また、カーボンニュートラル(CN)対応として、太陽光パネルを導入し、CO2削減に大きく寄与していることもご紹介いただいた。

(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメントは、2018年にトヨタテクノクラフト(株)、(株)トヨタモデリスタインターナショナル、(株)ジェータックスの3社が統合して設立した会社で、主に特装事業、用品事業、モータースポーツ事業を行っている。特装事業における「高規格救急車(ハイメディック)」の試作工場は、年間約500~600台を生産する救急車工場、作業者1人

ひとりにスマートフォンを支給し、その日の作業内容を伝達するシステム、図面等の情報を検索するために工程ごとに設置したPC、工夫された機材搬入治具の導入等、ITを活用した無理・無駄のない工程で、高品質な車作りの手本となり、参加者にとって大変参考となった。また、リビルトしたマイクロバスを前に、製作秘話をお聞きすることができた。

最後に、機密上の理由から通常は立ち入ることができない試作工場にて、一品ものを製作する職人技を垣間見る機会があった。見学メンバーからは相互交流の申し出もあり、皆様の共感を呼ぶ現場となった。

以上、参加者にとって今後自社で活かせる大変有意義な見学会であった。



高規格救急車製造工程



マイクロバス製作秘話傾聴



特種部会

■第1回工場見学会

特種部会(部会長・森孝義・中京車体工業(株)社長)では、7月3日、4日に、16社26名が参加し、三菱ふそうバス製造(株)、天龍工業(株)、ビューテックバスサービス(株)(いずれも富山県富山市)を訪問し、工場見学を行った。

三菱ふそうバス製造(株)での会社概要説明では、三菱ふそうトラック・バス(株)との関係、及びジェイ・バス(株)との違い、航空機製造から始まり現在に至るまでの沿革、主要製品等を詳しく、丁寧に説明

いただいた。工場見学では、ボディサイドパネルの歪防止の工夫として、パネルを8tで引っ張りながら組み付けている工程は、特にバスの



ウェルカムセンターでの記念撮影

架装を手がける会社の参加者から驚きと共に、大変勉強になったとの声が多かった。5Sの行き届いた大変きれいな工場は見習うべき点として参加者にとって自社に活かせる有意義なものであった。



大型バス車体製造工程

天龍工業(株)では、会社の概要のご説明、製品紹介等をお聞きし、改めて車両だけでなく様々なシートを生産していることを学び、そ



シート組立工程

れらのシートがどのように生産されているかを学ぶことができた。

一つひとつ仕様の違うシートをコンパクトな工場で効率よく作り上げていること、開発の初期から架装メーカーと連携しているという開発プロセス等は参加者にとって大変参考となる見学会となった。



シート表皮裁断工程

ビューテックバスサービス(株)では、三菱ふそうバス製造(株)で組み付ける内外装部品の多くを生産し、ジャストインタイムで納入していること、大型観光バスのポリカルーフ仕様車、エレベータ付き豪華仕様車、完全個室仕様高速バス、二階建てバス、三菱Rosa用のリヤスポイラー等独自のバス架装も実施する技術力を有していることを学んだ。エアコン

完備の5Sの行き届いた大変きれいな工場は各社の参考となった。工場シャッターの遮熱塗装は、参加者から「自社でもすぐに導入したい」との声が多く、大変勉強になった。



ポリカルーフバス



三菱Rosa用の自社開発リヤスポイラー

3社とも参加者にとって

大変有意義な見学となった。特種部会では今年度3回の工場見学を予定している。

新潟支部

■研修会を実施

新潟支部(支部長・丸山正範・(株)丸山車体製作所社長)では、7月16日、10社12名が参加し、(株)信越車体(長野県長野市)で研修会を実施した。

研修会では、会社概要や沿革などの説明をしていただいた後、実際の工場で作業現場を見ながら課題などを意見交換した。

初めての研修会だったが、参加者からは自社に持ち帰れる部分も多く、大変有意義な会だったとの声をいただいた。

その後、善光寺にて各社の繁栄と安全を祈願して参拝した。

中部支部

■愛知県自動車会館PR展示

中部支部(支部長・安藤章宏・(株)東海特装車社長)は、事務局が入居する愛知県自動車会館にてPR展示を実施した。

愛知県自動車会館は、入居する自動車関連の17団体がロビーでのPRを実施しており今年で9回目となる。

車体工業会中部支部は7月の担当で、働くクルマとしてトレーラ、キャリアカー、塵芥車、パトカー、救急車などのミニカー展示を通し「活動紹介」や「車体工業会パンフレット」、「車体NEWS」により、来館者へのPRを実施した。



四国支部

■講習会を実施

四国支部(支部長・北村和則・兼松エンジニアリング(株)専務)では、6月13日、11社22名が参加し、リーガホテルゼスト高松(香川県高松市)で講習会を実施した。

研修会では「不正改造車排除」をテーマに、講師に四国運輸局自動車技術安全部技術課自動運転係の林係長を迎え講演を実施した。講演では道路運送車両の保安基準等や細目を定める告示等の一部改正、自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会取りまとめについて、重点ポイントを説明いただいた。

参加者からは、本日の見学で学んだ様々なことを咀嚼して社内に展開したいという声が多々あり、大変有意義な講習会となった。

今後も講習会を継続し、不正改造車排除の更なるコンプライアンス遵守に努めていく。



九州支部

■「CN勉強会及び工場見学会」を開催

九州支部(支部長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、7月8日、19社32名が出席し、西鉄車体技術(株)(佐賀県基山町)を訪問し、CN勉強会及び工場見学会開催した。

CN勉強会では、前回の振り返りからステップ1～4を勉強した。また、省エネお助け隊による診断報告書の実例と更に儲かるCNの事例3件を紹介し、環境対応しながらのコスト削減を考察した。

工場見学では、既存の路線バスをEV化するレトロフィット電気バスの製造工程を見学し、路線バスの限られた空間を有効活用した高度な技術に参加者一同感銘を受けた。

本勉強会・見学会を通じ、自社でのCNの取り組みへの現実的な目標を考えるための大変良い機会となった。



自動車の排出ガス低減性能を向上させる 改造の認定実施要領の一部改正

国土交通省

- ・自動車の排出ガス低減性能を向上させる改造の認定実施要領(平成19年国土交通省告示第131号)について、刑法の改正により「懲役」及び「禁錮」等の字句が「拘禁刑」に改められたことを受けた、改造申請者の欠格事由に係る部分の改正。

道路運送車両の保安基準等の一部改正 (第194回WP.29関係)

国土交通省

- ・「ペダル踏み間違い時加速抑制装置に係る協定規則(第175号)」の新規採択ほか、「電波障害防止装置に係る協定規則(第10号)」等の改訂採択に伴う改正。
- ・電子的な検査(OBD検査)について対象装置の拡充。
- ・高性能林業機械の導入促進のため公道走行を可能とする措置。
- ・これらを踏まえ、道路運送車両の保安基準、装置型式指定規則、道路運送車両法関係手数料規則、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等について所要の改正。

原動機付三・四輪自転車の構造及び 装置に係る技術基準について

国土交通省

- ・原動機付三・四輪自転車の構造及び装置に係る技術基準の制定。
(これに伴い、「原動機付三・四輪自転車の構造・装置に係る技術基準について」(昭和59年・地技第85号、地審第280号)及び「原動機付三・四輪自転車の構造・装置に係る技術基準等の細部取扱いについて」(昭和59年・地技第86号、地審第281号)は廃止)

「装置型式指定実施要領について(依命通達)」 等の一部改正について

国土交通省

- ・「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」及び「視界内表示投影装置」の装置型式指定基準への追加。
- ・協定規則の改訂に伴う、装置型式指定基準において直

接引用している協定規則番号の改正。

- ・その他所要の改正。

スキャンツール補助金 交付申請受付中

国土交通省

国土交通省では、整備事業者におけるスキャンツール等の導入を支援するため、補助を行っており、「令和6年度補正予算スキャンツール補助事業」を実施中。

「令和6年4月1日」以降に購入し、「令和6年度スキャンツール補助金」の交付を受けていない機器※が補助の対象。

※「令和6年度スキャンツール補助金」の交付を受けた事業者であっても、交付を受けたものとは異なる機器であれば対象。

詳しくは、国土交通省HP及び補助金の申請ページ参照

<国土交通省HP>

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_OBD_company.html#subsidy



<補助金申請ページ>

<https://hogo-zoushin-r6h.jp/>



2025年度不正改造車を排除する運動への ご協力依頼

国土交通省

不正改造車については、これまでも「不正改造車を排除する運動」を中心に、街頭検査等のあらゆる機会をとらえ、その排除に努めてきたところ。

しかしながら、暴走行為、過積載等を目的とした不正改造車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となっていることから、社会的にもその排除が強く求められている。特に、マイカーに改造を施したことにより保安基準に不適合となったもののその認識のないまま運行の用に供している自動車使用者、車検時には保安基準に適合させつつ車検後に不正改造を行う施工事業者、更にはそのような不正改造車について検査での合格を強要する悪質な事業者がいる状況となっている。

このような状況に鑑み、国土交通省では、2025年度においても、関係省庁、自動車関係団体等の協力のもと、全国的に不正改造車の排除のための諸活動になお一層強力に取り組む。

<詳細は以下URL参照>

<https://www.jabia.or.jp/news/17717/>



2025年度 夏季の省エネルギーの取組みについて

経済産業省

例年、夏季と冬季に連絡している内容となるが、5月23日に開催した省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、2025年度「夏季の省エネルギーの取組みについて」が決定された。

詳しくは、以下URL参照。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/government/shouene_torikumi.html



「令和7年度エイジフレンドリー補助金」のご案内

厚生労働省

高齢労働者の労働災害防止のための設備改善や専門家による指導を受けるための経費の一部を補助する。高齢労働者の雇用状況や対策・取組みの計画を審査の上、効果が期待できるものについて、補助金を交付。全ての申請者に補助金が交付されるものではない。

補助金申請受付期間

2025年5月15日～2025年10月31日

詳しくは以下URL参照。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09940.html



自動車整備士の人材確保について

国土交通省

国土交通省物流・自動車局自動車整備課は、自動車整備士の人材確保を目的としたPRパンフレットを作成しています。今回は、より幅広い年齢層へPR活動を行うべく、小学校を対象としたパンフレットを作成しました。

！会員会社の『はたらく車』が掲載されました！

小学生を対象としたパンフレットの作成にあたり、車体工業会に「小学生に人気のある(見てかっこいいと思う)『はたらく車』の写真」の提供依頼がありました。複数の会員会社様より写真を提供いただき、おかげさまで下のようなパンフレットが出来上がりました。トラックというとOEMメーカーに目が行きがちですが、今回のパンフレットで、『はたらく車』をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。2ページ目下には、車体工業会のQRコードも載せて、会員会社が製作する『はたらく車』を、今後もアピールしていきたいと思います。

最後に写真を提供していただいた会員会社の皆様、すべて掲載することはできませんでしたが、ご協力いただきありがとうございました。



P.29～30に大きく掲載しています

最近の法規関係情報の詳細についてはJABIAホームページ新着情報の法規情報をご覧ください。

<https://www.jabia.or.jp/news/regulations/>



会員情報

■入会	正会員	(株)吉谷機械製作所 代表取締役社長 吉谷 勇一郎 〒680-0921 鳥取県鳥取市古海356-1 TEL. 0857-23-2211 【主要製品】 消防ポンプ自動車 【所属部会】 特装部会		
		(株)ナッツ 代表取締役 荒木 賢治 〒811-4342 福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1704-3 TEL. 093-293-8888 【主要製品】 キャンピングカー 【所属部会】 特種部会		
	準会員	(株)ミラージャパン 代表取締役 清水 勇 〒105-0004 東京都港区新橋6-20-11 TEL. 03-5405-2562 【主要製品】 レッカー装置 【所属部会】 資材部会		
		モビリティエナジーサーキュレーション(株) 代表取締役 前園 真司 〒227-0065 神奈川県横浜市青葉区恩田町3113-6 TEL. 045-530-1135 【主要製品】 超小型車載用バイナリー発電・蓄電システム 【所属部会】 資材部会		
■社名変更	正会員	カーゴテック・ジャパン(株) → ヒアブ・ジャパン(株)		
	準会員	ビーワイディー・ジャパン(株) → BYD JAPAN(株)		
■本社移転	正会員	坪井特殊車体(株) 〒421-0204 静岡県焼津市高新田509-1 TEL. 054-622-6000		
■代表者変更	正会員	(株)アイチコーポレーション	代表取締役社長	中澤 俊一
		いづみ自動車(株)	取締役社長執行役員	蛭名 一二三
		昭和飛行機工業(株)	代表取締役社長	黒田 穰
		(株)東海特装車	取締役社長	安藤 章宏
		タニ工業(株)	代表取締役社長	谷 浩和
		西鉄車体技術(株)	代表取締役社長	丹山 裕和
		古河ユニック(株)	代表取締役社長	菅野 悌二
	準会員	オールセーフ(株)	代表取締役社長	尾関 邦彦
		澤藤電機(株)	代表取締役社長	下山 泰樹
		(株)小田原機器	代表取締役社長	津川 直樹
		(株)サンゲツ	代表取締役社長 執行役員	近藤 康正
		スウェーデンスティール(株)	代表取締役	奥 一三
		(株)レゾナント・システムズ	代表取締役社長	石塚 利之



大津 晃一 代表取締役



DATA

■本社 〒985-0843
宮城県多賀城市明月一丁目7番19号
TEL 022-364-8101
FAX 022-364-3541
URL <https://shinseibody.sub.jp/>

■資本金 1,000万円

■従業員 18名

■事業所規模

敷地：5,000㎡ 事務所・工場：780㎡

■車体工業会加入

2022年7月(トラック部会)



SHINSEI body
HOT LINE 022-364-8101



新生自動車工業(株)

トラックボディの新たな価値を創造し、 物流事業の発展に貢献する。

東日本大震災の直撃を受け、工場設備のすべてが流され、従業員は全員解雇。希望と努力と周囲の助けでマイナスからの再建に成功し、文字通り「新生」した新生自動車工業(株)は今年、創業50年を迎えた。

車体工業会 森田 敦次

● 特徴・沿革

新生自動車工業(株)の創業は1968年、先代社長が勤めていた宮城県の大手板金塗装会社が倒産し、有志で立ち上げた「新生モータース」が始まりとなる。主に乗用車の板金塗装や修理を行っていたが、高度経済成長に伴うトラック需要の増加で、商用車ディーラーからいすゞ車を中心としたトラック架装の依頼が増えていく。

1975年に「(有)新生自動車工業」として法人化。売上は順調に伸びていき、1980年には間借りしていた工場から、多賀城市宮内に工場を設立して移転した。

2011年3月、東日本大震災で工場のある宮内地区には6mの津波が押し寄せた。従業員は全員近くのスー

パーの屋上に避難することができたが、事務所は全壊し、工場の設備すべてが流されてしまった。

震災の3年ほど前に現社長に交代し、経営のスリム化を進めていた中での被災で、状況的に全員を解雇せざるを得なかった。再建への不安はあったが、漠然としながらも、何か新しいことができるのではないかという気持ちでリスタートできたという。

受注残を抱えていたため、顧客にご迷惑をおかけするわけにはいかなかった。東北地域の複数の架装工場の協力を得ることで、3年の間、工場なき営業活動が続けることができた。

震災前から異業種交流に積極的に参加していたので、行政や知人から様々な復興制度の情報を得ることができ、制度を活用して現在の地に新工場を建設することができた。

震災特需で仕事は多く、県の再生支援プログラムの資金を活用して中古機械を揃え、従業員も震災前の半分ほどまでに戻すことができた。



震災直後の工場があった場所

製品

― 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

今年で創業50年となります。主に大型トラックを中心に、ダンプ、冷凍冷蔵車、平ボデー、バン等の様々な架装を行っています。

高度経済成長期から、バブル崩壊や東日本大震災を経験し、多くの周囲の方々に助けられ、困難を乗り越えることができ、マイナスの状態から再建することができました。

従業員は震災前の半分ほどとなりましたが、周辺には弊社の元従業員が営む架装工場も数多くあり、地元の中心工場として、地域の発展に貢献していきたいと思います。



顧客の要望に応じて様々な架装を行っている(シュレッダー搭載車)



復興支援で工作機械を揃えることができた



大型車専用塗装ブース

― どのような製品を手掛けているのでしょうか？

顧客の要望に応えた様々な架装を手掛けております。力を入れているのは、家畜運搬車と重機運搬車です。

特に「大型二段積豚運搬車」は弊社の特許技術を用いた架装で、来年のトラックショーでの展示を目指して、設計を進めています。

家畜運搬用に開発したオリジナル製品として「ブルキャリア」を製造販売しています。

専用の家畜運搬車を用意しなくても、平ボデートラックに「ブルキャリア」を積むだけで、家畜を運搬することが可能になります。北海道から九州まで、農協や畜産試験場からの引き合いをいただいています。

革新的な家畜用運搬シェル「ブルキャリア」

― 御社の経営方針は？

創業時とは経済状況は違うので、大規模を目指すことはせず、顧客の声や要望をよく聞いて、形にして応えていく会社であり続けたいです。

50周年事業として、従業員が快適に過ごせる休憩室のリフォームや大型クレーン設備の導入を進め、会社全体の対応力を強化しています。

復興制度を活用した新しい工場や設備を生かして、様々なニーズに臨機応変に対応できる会社でありたいと思っています。

人

― 御社の特徴は？

ベテランの中には、職人気質が残っている部分は多いです。古くからの職人の技術を大事にしながら、若手は技術者として育成していきます。

若手採用には苦労しますが、現在の工場は、住居地区と隣接した地域で、近くの单身寮に安く住めるので、比較的、従業員が集まりやすいです。

複数名のベトナム人を実習生ではなく、高度人材として正規採用し、CAD設計等を学ばせています。

― 次世代の教育について

特別に難しい技術を必要とする作業ではないので、経験を積み重ねることが大切です。技術的に優れて指導もできるベテランが現場で指導を

行い、スピードよりも確実な仕事をする技術者の育成を目指しています。



モノづくりと環境の架け橋を作る

(株)シー・エス・シー

1965年に創業し、今年60周年を迎える(株)シー・エス・シーは、世界中から一流といわれる優れた製品を輸入し、技術的サービスを付加することによって使い勝手を良くし、日本のモノづくり産業の発展に貢献してきた。

同社の代表製品である米国カミンズ社「オナン発動発電機」は、医療防疫車・移動金融車両・キッチンカーなど多くの特装車



安定した稼働を求められる発電機

に採用されている。架装の下部に設置される発電機は、停車中の風が入らない状態で、長時間の連続運転が求められる。過酷な条件の中、自ら冷却を保ちながら安定した電源供給を行い、国内で4,000台以上が稼働している。

目立たないところで活躍する製品

同社が取り扱う様々な製品群は、上記の発電機のように目立たない箇所で活躍しているため、発売してから、製品を理解して認めてもらい、採用されるまでに時間を要することも多いという。

韓国製の「自動給脂装置」は、回転機構におけるベアリングのグリスアップを自動で行い、高所に設置されたファンや無人倉庫の搬送装置、人が入りづらい閉所等で広く利用されている。



潤滑自動化でコスト削減



気化脱臭装置「爽」

植物由来の滅菌力を利用した消臭剤は、60種の樹液を混ぜる特許技術を取得し、国内で製造・販売している。ダクト出口付近に設置した「気化脱臭装置・爽」から気化した消臭液を噴霧し、排気に混ぜることで臭いを抑える独自技術で、厨房や

家畜の臭いの低減に高い効果を発揮し好評を得ている。

これらの製品も長年に亘って継続使用されており、文字通り、日本の製造業を陰ながら支え続けている。

カーボンニュートラルへの取組み

自社でもメガソーラーを所有している(株)シー・エス・シーは、環境対応製品の取扱いにも積極的に取り組んできた。

工場全体の電力消費量の30%を占めるケースもあるエアコンプレッサーは、水分や油分を除去するフィルターの目詰まりで、余分な負荷がかかり、必要以上に稼働し、無駄に電力を消費していることはあまり知られていない。

2018年から販売を開始したスロベニア製の高性能フィルター「オメガエア」は、水や油を強力に弾く



日本国内のほとんどのエアコンプレッサーと互換性があり、安価なため導入しやすい「オメガエア」

特殊な紙とプリーツ形状によって、目詰まりを従来品の半分以下に抑えることができる。単価も国産品に比べて、安価なので手軽に導入しやすく、工場によっては大幅な節電効果も期待できる環境製品である。

オーストラリア製の一本脚架台を活用した「ソーラーカーポート」は、工場の屋根や遊休地にソーラーパネルを設置し、さらにソーラーパネルを増設したい企業向けの製品である。



一本脚架台で支柱が少ないソーラーカーポート

従業員用駐車スペース等を活用でき、余計な支柱が少ないため、駐車が容易であることが最大の特徴となっている。

CO2削減に対する補助金の追い風もあり、「ソーラーカーポート」は、現在も数多くの引き合いが来ているという。

(株)シー・エス・シーは、今後も環境対策とカーボンニュートラルに貢献できる製品を国内外から見つけ出し、日本の製造業に供給していく。



近藤 正幸

産業機械事業部 部長

岡 恭平

代表取締役社長

谷本 信治

産業機械事業部 課長

(株)シー・エス・シー 代表取締役社長 岡 恭平

未来の地球とコミュニケーションを

【本社】〒102-0075

東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町4階

Tel: 03-5215-0111 <https://www.kkcsc.co.jp/>

私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

研究開発型企业として多彩な価値を創造

セーレン(株)

セーレン(株)は1889年に創業、各種繊維製品の染色加工分野で長年発展していった。

1970年代頃から多くの繊維の生産は日本から中国へとシフトしていき、セーレン(株)自体も苦境に陥っていたが、1988年に「ビジネスモデルの転換、非衣料・非繊維化、IT化、グローバル化、企業体質の変革」の5つの経営戦略を策定し、今でもその経営戦略を継続している。

同時期に多品種・小ロット・短納期・在庫レス・カスタマイズをコンセプトとする、独自のデジタルプロダクションシステム「Viscotecs®(ビスコテックス)」を確立。100年以上培ってきた繊維加工技術と、最先端のITを融合させた独自の生産システムは、大量生産・大量廃棄が当たり前だった繊維業界の常識を変革した。

2005年に旧カネボウ繊維事業の事業譲渡を受け、糸から最終繊維製品までの企画～製造～販売の一貫機能を備え、生活者のニーズに即応できる新しいビジネスモデルを構築した。



インクジェットプリンターがズラリと並ぶビスコテックスの工場

進化を続けるビスコテックス

ビスコテックスの技術により、繊維素材への加飾(デザインプリント)提案を1枚の生産から大量生産までオンデマンドで対応でき、在庫レスを実現している。

従来ファッションやスポーツウェアに活用されてきたビスコテックスは、研究開発によって高度な進化を続け、繊維素



生活資材販売部 ビスコテックスソリューション販売課
竹内 勲 水野 彰夫 山崎 翼

材以外にも、住宅外壁、電化製品、自動車のシート表皮素材・インパネ等、セーレン(株)の様々な事業領域へその用途を拡大している。

研究開発型企业

驚くべきことにビスコテックスで使用しているあらゆる技術はすべてセーレン(株)が自社で開発したものである。

他社に頼らない研究開発は、同社の製品・技術力を飛躍的に高め、事業の発展に大きく寄与することになった。様々なニーズにあらゆる視点から対応し、ビスコテックスで表現できないものはないと言わしめるほどになり、セーレン(株)の事業は新たな価値創造を求め縦横無尽の拡大を続けている。

バス・鉄道シートへの適用

カーシート表皮材で世界トップシェアを誇るセーレン(株)は、バス・鉄道のシート表皮素材として、繊維起毛素材(ダブルラッセル)や、軽量かつ高耐久性で本革を超え、環境にも優しい合成皮革「QUOLE®(クオーレ®)」を提供している。

これらの独自素材に対しても、あらゆる意匠表現が可能になるビスコテックスが適用可能であり、様々な顧客ニーズに合わせて、細かい要望に応えることができる。

顧客に対して、一品一様のバス・鉄道用シート表皮素材の提供を可能にしたビスコテックスのビジネスモデルは、まさにセーレン(株)独自のものである。



リアルな質感の外壁材は、立体パターンに正確にインクジェットプリントで加飾ができ、表面処理を行うことで高い耐候性も備える



軽さと耐久性、加飾性で本革を超えた合成皮革「QUOLE®」シリーズ

セーレン(株) 代表取締役会長／CEO 川田 達男
夢で世界を変えていく

【本社】〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1-1
(新青山ビル東館17F)
Tel: 03-5411-3401 <https://www.seiren.com/>



Q1 バイオ燃料とは？

バイオマスを原料とした燃料全般を言う。穀物などのように食用としても使える原料を用いて製造したもの(第1世代バイオ燃料)と、木質燃料や廃棄物などのように非食用の原料を用いて製造したもの(第2世代バイオ燃料)がある。植物や動物などの生物資源(バイオマス)を原料として、**カーボンニュートラルで環境に優しい燃料**として注目されている。

バイオ燃料の種類	特徴
バイオエタノール	トウモロコシやサトウキビなどを発酵させて製造され、 ガソリンの代替又はガソリンに混合して使用される
バイオディーゼル	植物油や廃食用油から製造され、軽油の代替としてディーゼルエンジンに使用される
バイオガス	家畜の排泄物や生ごみなどの有機性廃棄物をメタン発酵させて生成され、発電燃料や熱供給に利用される
バイオジェット(SAF※)	微細藻類や木材チップなどを原料に製造され、航空燃料として使用される

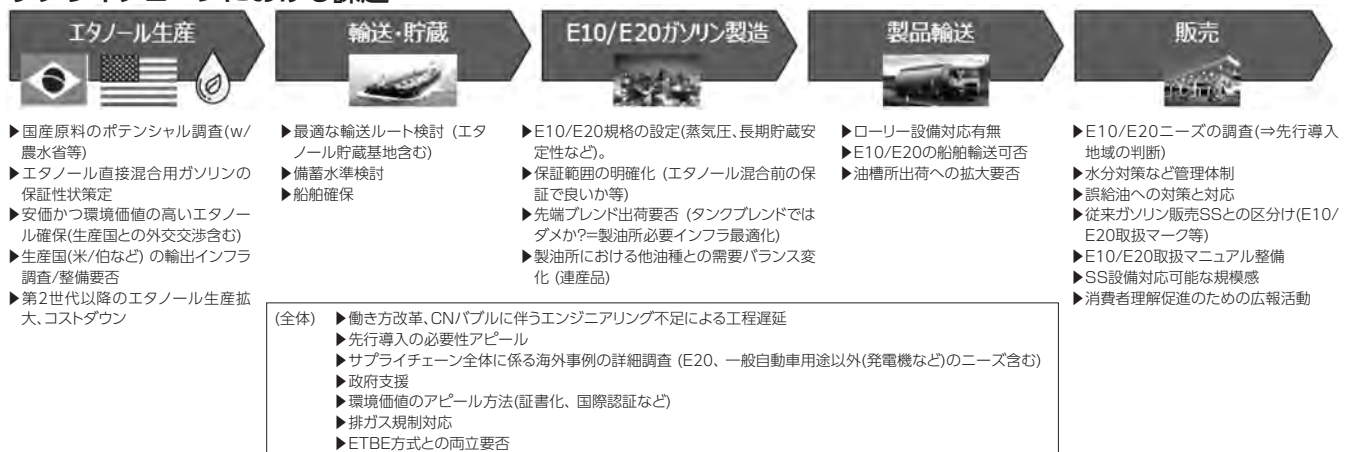
※SAF : Sustainable Aviation Fuel

Q2 ガソリンへのバイオエタノール導入拡大に向けた経産省の方針は？

- ◆ 2030年度までに、バイオエタノールの導入拡大を通じて、最大濃度10%の低炭素ガソリン(E10)の供給開始を目指す
- ◆ E20(最大濃度20%)の認証制度にかかる議論を速やかに開始し、車両開発等のリードタイムを十分に確保した上で、2030年代のできるだけ早期に、乗用車の新車販売におけるE20対応車の比率を100%とすることを旨とする。その上で、2040年度から、対応車両の普及状況やサプライチェーンの対策状況などを見極め、対象地域や規模の拡大を図りながら、E20の供給開始を追求
- ◆ 関係団体や有識者、政府関係者等によって構成された合成燃料(e-fuel)官民協議会において専門的な検討を行い、ガソリンへのバイオエタノール導入拡大に向けた具体的なアクションプランを策定する。その際、政府は、制度や支援など、必要な環境を整備

Q3 課題は？

サプライチェーンにおける課題

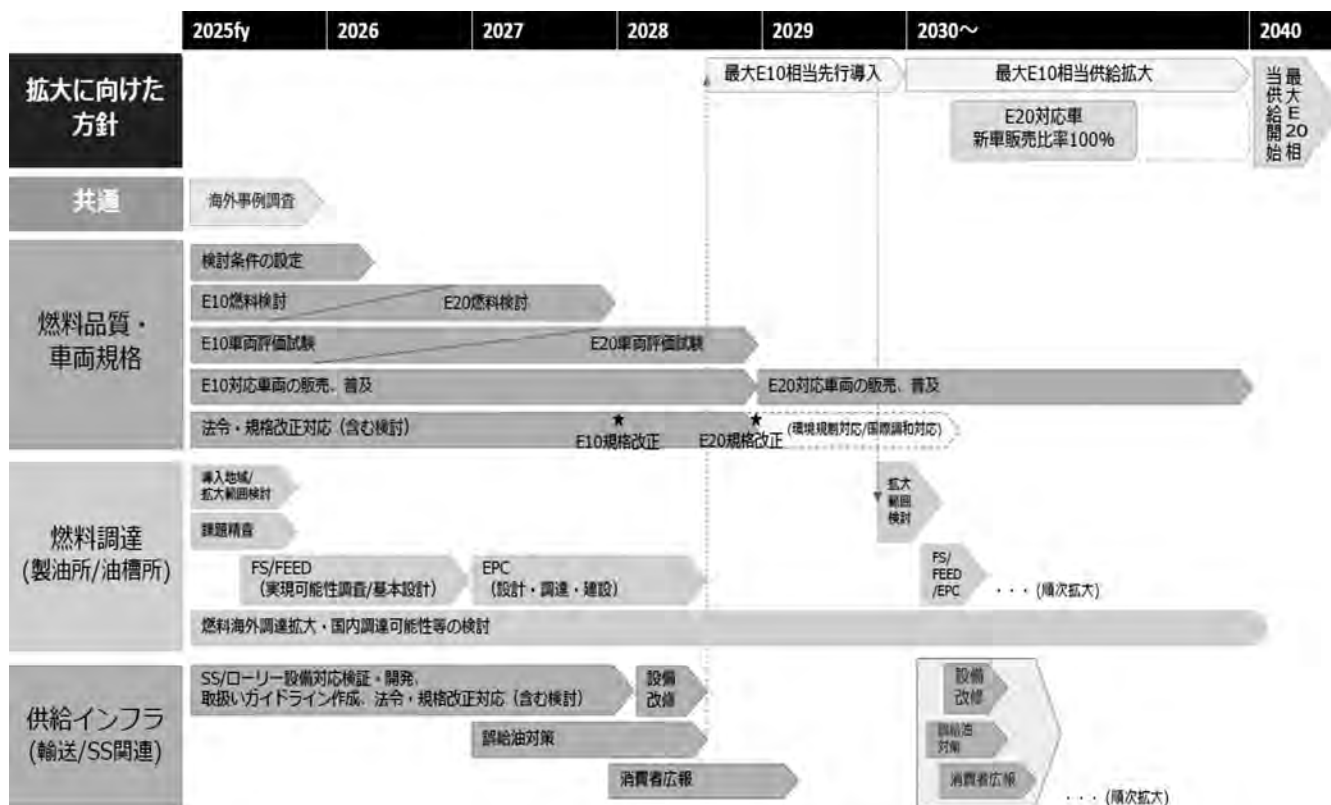


供給設備対応の主な課題

タンクローリ設備の 主な課題	タンクを含め、アルミ製の部材を多く使用、E10/E20に耐性のある部材への変更の要否 ⇒ 必要部材の特定と改修 ⇒ 車両重量の増加により積載可能量が減少した場合の対策
SS設備の主な課題	① 計量機・配管等にアルミ部材を多く使用、E10/E20に耐性のある部材への変更が必要 ⇒ 必要部材の特定と改修 ② 地下タンクの回収・新設等 ⇒ 設置工事費用と工期 ③ 油面計の改良・開発 ⇒ 開発に要するコストと期間
SS事業者の主な課題	設備改修コスト負担、将来のSS経営継続に係る不安

Q4 導入に向けたアクションプランは？

E10の2028年先行導入、2030年本格導入、E20の2030年導入に向け、「燃料品質・車両規格」、「燃料調達」、「供給インフラ」3つのチームに分かれ技術検討を開始。



(出典：経済産業省HP)

Q5 当会の対応は？

カーボンニュートラルに資する活動であり、当会として政府の導入計画に協力をしている。

- ・ 特装部会のローリ分科会が「供給インフラ」タスクフォースに参加し、E10/E20に対するローリの各種使用材料の耐性調査を、すでに採用している海外動向、自工会各社の過去の試験結果等入手し、具体的な対応を検討予定

働くクルマたち



第50回：高性能林業機械 (フォワーダ)

社会に欠かすことができない車体工業会会員が製造している多種多様な「働くクルマたち」について、毎回車種を選定し、その特徴等、日頃は目にしないところを含めて紹介していく。

第50回目は特装部会のイワフジ工業(株)から高性能林業機械(フォワーダ)について紹介する。

1. フォワーダとは

林業現場におけるフォワーダとは積載式集材車両のことであり、荷積み作業のためにグラップルローダーを装備する場合もある。積載して集材するために積載可能な材長に制限があり主に短幹集材に用いられる。

材をひきずらないため、作業時の土壌かく乱を少なくすることができ、接地面の広いゴムクローラと低く安定した重心により、不整地・軟弱地でも高い走行性能を発揮する。



2. フォワーダ開発の歴史

我が国における林業の機械化が本格的に進展したのは第2次大戦後であり、1985年台に入りフォワーダ等の高性能林業機械の本格的導入が始まった。

2023年度のフォワーダの保有台数は4,781台*であり、他の高性能林業機械よりも台数が多いことから林業に欠かせないものとなっていることがうかがえる。

イワフジ工業(株)の最初のフォワーダは、1989年に開発したLC-30、LC-31である。これは以前から開発されていたトラクタとホイール式ミニバックホウの技術を合わせたものだった。ホイール式ミニバックホウのエンジンとHST油圧システムにトラクタの二重差動を繋ぎゴムのクローラを履かせていた。LC-30がダンプのように荷台を後部に設けたタイプ、LC-31が横積みタイプであった。

1994年、LCに改良を加え開発されたのが、現在のイワフジ工業(株)の主力製品であるフォワーダUシリーズの第一弾U-4である。このU-4は「ユーフォー」の愛称で親しまれ大ヒットした。

大きなエンジン(100ps)を搭載し、左右独立したHST油圧システムにすることで単純化し、木材寸法を踏まえた荷台のサイズとバランスで、空車時も積車時も快適に走行できる機械になった。

U-4に続いて、U-3、U-6、U-5とシリーズを拡大し、同時にローダー付きも開発している。

フォワーダのUシリーズは、オフロード法への規制対応もあって、E型までモデルチェンジが進んでいる。



LC-30



LC-31

※参考：林野庁「高性能林業機械の保有状況（2023年度）」より

3. 最新フォワードの機能の一部紹介

イワフジ工業(株)の最新型フォワード「U-Eシリーズ」は特定特殊自動車排出ガス2014年基準(オフロード法)に適合したエンジンを搭載し、従来機より熟成を重ねた基本性能はそのままに環境性能を更に向上した。

「U-3E」「U-4E」「U-5E」「U-6E」、グラップルローダーを搭載した「U-3EG」「U-4EG」「U-5EG」「U-6EG」、それぞれにウインチ付き仕様機の「U-4EW」「U-5EW」「U-6EW」「U-4EGW」「U-5EGW」「U-6EGW」の合計14機種をラインナップして幅広いニーズに応える。



<排出ガス基準適合エンジンを搭載>

特定特殊自動車排出ガス2014年基準に適合したエンジンを搭載。U-5E/U-6Eは排出ガス中のNOxを大幅に削減する「尿素SCRシステム」が搭載されている(尿素タンク搭載)。U-4EはDPFエンジン、「尿素SCRシステム」を搭載。U-3EはDPFエンジンを搭載。

<運転速度を微調整できるスピードコントロール>

高速と低速に加え、エンスト防止・オーバーラン予防・微操作ができるスピードコントロールを搭載。(U-6E/U-5E/U-4E)

<操作性に優れたT型レバー>

前後進・走行・停止等の操作が片手で簡単にできる電気式シングルレバーを採用(U-3E/EGは機械式シングルレバー)。ステアリングレバー用ガイドにより、安定した走行操作が可能である。



<過酷な現場に対応する様々な安全性>

枝条や轍などの突き上げから機械を保護するアンダーカバーを装備。全方位をガードすることで泥の侵入も防ぐ。横出しの排気口により、火の気の原因となる枝葉や油などの付着を防ぐ。アンチストール制御により、登り坂でも負荷を抑えてエンストを防止する。

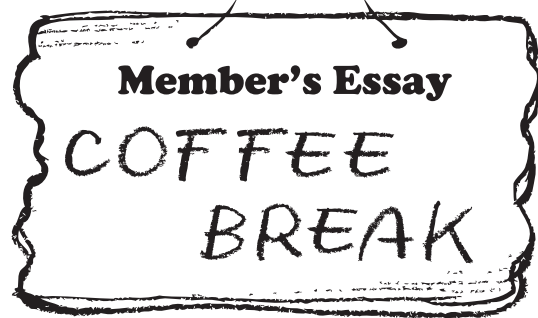
<作業性能と操作性に優れたグラップルローダー>

大容量2ポンプシステムにより、スピーディーで滑らかな同時操作が可能である。大型で懐の深いグラップルにより効率的な積込作業が可能で、テレスコ式のロングリーチにより広範囲に点在する丸太を効率的に積み込むことができる。トップシートによるグラップルローダー作業は視認性・作業性に優れる。



4. フォワードの今後

林業は少子高齢化により人手不足の危機感が強く、常に省力化が求められる業種である。集材作業においてもその需要は高く今後は自動化などの発展が強く望まれている。



いざ、富士山へ!

日産車体(株) 人事部 採用・教育企画グループ りゅうともひろ 龍 智弘

「なぜエベレストに登るのか」という問いに対し、イギリスの登山家ジョージ・マロニーは「そこに山があるからだ」と答えたそうです。私は登山家ではありませんが、日本一の山である富士山が近くにあるのだから、いつかは登ってみたいと思っていました。

しかし、いつか登ろうと思いつつ、これまで一度も登ったことがありませんでした。大学生の頃はアルバイトや遊びに夢中で登ることがなく、就職してからは北陸や九州などで暮らしており、富士山に登る機会がありませんでした。ようやく地元である神奈川に戻り、今年の夏、その機会



一番左の犬を抱えているのが筆者

が訪れました。富士山は初心者でも挑戦できる山とはいえ、いきなり標高3,776メートルは厳しいだろうと、まずは近くの山で体力づくりを始めました。主に挑んだ山は高尾山と伊勢原の大山です。高尾山は標高599メートルと低めの山で、登山道も整備されており、ハイキング感覚で登ることができます。一方で伊勢原の大山は標高1,252メートルと富士山と比べれば低い山ですが、登山道が高尾山ほどすっきり整備されているわけではなく、いわゆる登山という感覚で挑むことができました。

どちらも運動好きな犬を連れて登りましたが、犬は元気いっぱい駆け上っていく一方、私はなかなか



苦労しました。それでも何度か登山に挑んで体力を作り、7月19日(土)にようやく富士山に挑みました。

道の駅すばしりに午前4時に到着し、シャトルバスで須走口へ。8時間かけて山頂まで登り、4時間かけて下りました。



富士山山頂

さすが富士山だけあって5合目の時点で雲より高く、登山中の景色は絶景ながらも単調で、ひたすら足を前に進めるという自分との戦いでした。それでも山頂に着くと不思議と感動や達成感が胸に広がりました。山頂からの景色は息をのむほど美しく、遠くまで見渡せるその眺めは、これまでの苦労を全て忘れさせてくれるものでした。皆さんも「いつか」、「そのうち」と先延ばしにせず、ぜひ富士山に登ってみてください。

趣味のお話し

ロータスRV販売(株) 代表取締役社長 まつもと こうたろう 松本 興太郎

私の趣味は現在、妻と2人で楽しむ船釣りです。若い頃は全く違う趣味を持っていましたが、20歳から22歳までの間は、ロードレースに夢中になりました。当時はスピードとテクニックを競うレースの魅力に惹かれ、時間があればバイクにまたがり、風を切って走っていました。しかし、オートバイは危険も多く、将来のことを考えて23歳の頃に釣りへと趣味を切り替えました。

釣りは静かで奥が深く、自然と向き合うことができる点に惹かれました。釣りをより快適に楽しむために、キャンピングカーに乗り始め、子供たちが中学生になるまで家族4人であちこちへキャンピングカーで出かけたのは、今でもかけがえのない思い出です。道の駅や海辺の駐車場に泊まりながら、家族で過ごす時間は特別でした。私の勤務先がキャンピングカーや特装車の製作・販売をしていることもあり、自分好みにカスタマイズした車で旅は、趣味と仕事の両方の視点から楽しむことができました。

子供たちが成長して家を離れてからは、妻と2人での時間が増え、今ではマイボートでの海釣りに夢中です。夫婦で海に出る時間は、日常の忙しさを忘れさせてくれる貴重なひとときです。今年のお盆休みには複数回釣行し、太刀魚を釣り上げることができました。新鮮な太刀魚を自宅で料理して味わうのも、釣りの大きな楽しみのひとつです。

これからも、自然の中で過ごすこの趣味を、夫婦で長く楽しんでいきたいと考えています。



釣り上げた新鮮な太刀魚を自宅で料理

踊りたいけど、 踊れない夏季休暇の一日

共和ライフテクノ(株) 管理部 藤岡 啓治 ふじおか けいじ

例えば夏季休暇の過ごし方、徳島では夏季休暇＝お盆＝阿波踊りとなりますが、総務課から経理課に異動になってから、阿波踊りの練習に行く時間が確保できず引退をいたしました。そこで、長期のお休みに何をすべきか……。趣味と実益で有意義に。で始めたのが涼しいうちのストレス解消のプチツーリングと、生え伸びた庭木の剪定、趣味のバイクいじりと田圃の維持管理となりました。

まず涼しいうちのストレス解消は5:00から交通量の少ない山道をミニツーリング。その日によってコースは変えませんが一番気持ちのいいのが神様のいる町、神山町の道の駅までの往復1時間コース。山道ですが2



涼しいうちの庭木の剪定

車線の国道438号線で適度なカーブとアップダウンでリズムよく走り切れます。また早朝なのでトンネルの中は23℃とメッシュジャケットなら非常に快適です。

次に涼しいうちの庭木の剪定。父親が庭師だったため道具が揃っており、春先から伸び始めた庭木をお手入れ。松は剪定ばさみを使いながら、松葉を手で撈りながらのお手入れなので時間は掛かりますが、ぼうぼう伸びた枝をさっぱりと剪定することで暑い夏もちょっとは涼しく感じられます。



友人から譲り受けたTZR250

返事で譲り受けました。が、エンジンは掛からない、ブレーキレバーは反動がない、フロントフォークオイル漏れ等々で、キャブからブレーキマスター、オイルシールのオーバーホールです。あくまで楽しみながらやっているのでなかなか完成には至っていませんが…。

さて一日のまとめは夕方涼しくなりかけた18:00過ぎに田



楽しみながらオーバーホール

圃での水管理と畦の草刈りなどなど。これで充分1日のカロリーを消費して、お風呂上がりのビールで充実した休暇の一日です。

本当なら夏は阿波踊りで“浮き助”に変身。“ヤットサーヤット ヤット〜♪”で夏を終わりにするのが本望ですが、それは今後のお楽しみで取っておきます。



夕方から田圃の管理

いどばた会議

私のSDGs Part14

身の回りから節水を

飛鳥特装(株) きしもと せいぎ
岸本 正義

住宅をリフォームする際に、節水のシャワーノズルと食洗器を導入しました。

食洗器は自分で洗う手間を省ける他、節水・省エネ効果も高まっているということで注目していました。

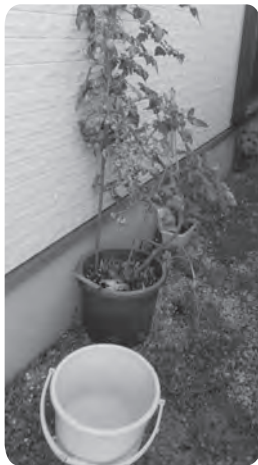
新しいキッチンで気持ちよく、楽しく節水に取り組んでいます。



クサガメの水を再利用

北関東自動車工業(株) いしだ じゅん
石田 淳

私の家には、8才になるペットのクサガメがいます。毎日、水槽の水替えで、水道水10L使用しており、排水を家庭菜園のトマトに利用し収穫、循環しています。



地産地消

(株)東海特装車 いえだ みゆき
家田 みゆき

野菜高騰を機に通い始めた地元のファーマーズマーケット。

新鮮な野菜や魚、貝類を並べ生産者さんとの会話は料理方法や捌き方。何より勉強になったのが農家さんに教わった野菜の保存方法とちょっと時間が経ってしまった野菜の復活方法。

捨てることなく食べる事を学びました。



地域の農業支援と環境負荷の軽減

トヨタ自動車東日本(株) まき かずゆき
槇 和之

週末は地元の直売所で野菜や果物を購入しています。新鮮で安心な食材を選ぶことで、地域の農業支援と環境負荷の軽減に貢献しています。



地域の清掃活動への参加

トヨタ自動車東日本(株)

かつまた めぐみ
勝又 恵

地域の清掃活動に毎月参加しています。ごみを拾うだけでなく、近隣住民との交流を通じて、持続可能なまちづくりに貢献しています。



タオル1枚から始まるボランティア

(株)東海特装車

みやざき あやね
宮崎 彩音

職場のみなさんに声をかけて使用済みタオルや、使わないペット用品を地域の動物保護団体に寄付しました。

タオルは特に重宝されるそうで、捨てるはずのものが役立つことは、とても嬉しく思います。またお届けしたいです！



牛乳パックのリサイクルをしています

(株)矢野特殊自動車

うえの みほ
上野 美穂

育ち盛りの子どもが増え、毎日大量の牛乳パックが発生。今まではただのゴミでしたが、今はまとめてリサイクルボックスへ持っていくことが日課となりました。

「地球のためにできること」を考え、身近なことからSDGsに取り組んでいます。



なんでもない日の備え

日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)

たじま ゆうこ
田島 祐子

海の近くに住む我が家。東日本大震災を経験した娘婿の話をきっかけに、娘と防災バッグを準備しました。

家族の安心のための小さな一歩です！



トヨタ車体(株)
商用営業部
すずき りな
鈴木 里奈さん



我が社の



日産車体(株)
車体設計部
たけむら こうき
竹村 航生さん



**業務効率化とミス
軽減に貢献できた
ことは大きな喜び**

**自分で設計した部品
が実物として出来た時
は達成感があります**

Q1 どんなお仕事ですか？

トヨタ車体(株)では商用車、乗用ミニバン、SUVの企画・開発から生産を行っています。その中でも当社が担当する特装車のプロモーション業務(ホームページ管理など)を担当してきました。現在は、営業活動を更に効果的にするため、データに基づく分析手法の習得に力を入れています。

Q2 仕事で楽しいときは

長年の慣習だった働き方に対し、別の視点からのアプローチを提案し、組織の仕事のやり方を改善することで、業務効率化とミス軽減に貢献できたことは大きな喜びです。今後は、現在学んでいるデータ分析の技術を活かし、より一層業務に貢献できるよう尽力していきたいと思っています。

Q3 仕事でつらいこと

多様なお客様のニーズに応じた営業アプローチについて日々悩みながら業務に取り組んでいます。現場でのリアルなお客様の声に加え、データ分析に基づく客観的な知見を融合させることで、最適な解決策を見出し、営業活動を一層推進していきたいと考えています。

Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

私が所属している商用営業部は、事務職と技術職が混在しており、配属されたときは、他の部署ではあまりない環境だと思いました。この道一筋のベテランから、異動してきたばかりの人まで多様なバックグラウンドを持つメンバーがいて、日々新たな気づきを得ながら視野を広げています。

Q5 御社のPRをしてください！

トヨタ車体(株)は、お客様のニーズに応える「もっといいクルマづくり」を通じて、世界中の人々の生活と社会インフラを支えています。これからますますのお客様に「移動の自由」と「喜び」をお届けしていきます。

Q1 どんなお仕事ですか？

自動車のドア設計を担当しています。ドアはメタル、樹脂、ゴム、機構、電気など様々な分野の部品で構成されており、各材質の材料特性を考慮した設計が必要です。ドア設計は3年目となりますが、経験が必要などころなどもあり、業務を通じて勉強しています。

Q2 仕事で楽しいときは

自分で設計した部品が実物として完成したときはうれしい気持ちと達成感があります。あと、自分が担当したプロジェクトの車が街中で走っているのを見かけるとうれしいです。最近だと、YouTubeなどで自分の担当した車が紹介されているのを見ると、達成感をより感じます。

Q3 仕事でつらいこと

入社直後は覚えることが多く大変でした。先輩方にツールの使い方や、設計のノウハウなど教えてもらっていました。当時は、できないことが大変悔しく、早くチームの一員として力になりたい一心で積極的に先輩方とコミュニケーションを取りながら仕事をしていました。

Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

新車開発に携わり、量産開始を迎えたことが印象に残っています。自分が担当するはじめての車だったので、様々な課題があり、大変でしたがチームメンバーの支えのおかげで乗り越えることができました。上述の経験により、ものづくりの難しさを学んだ反面、やりがいをもものすごく実感しました。

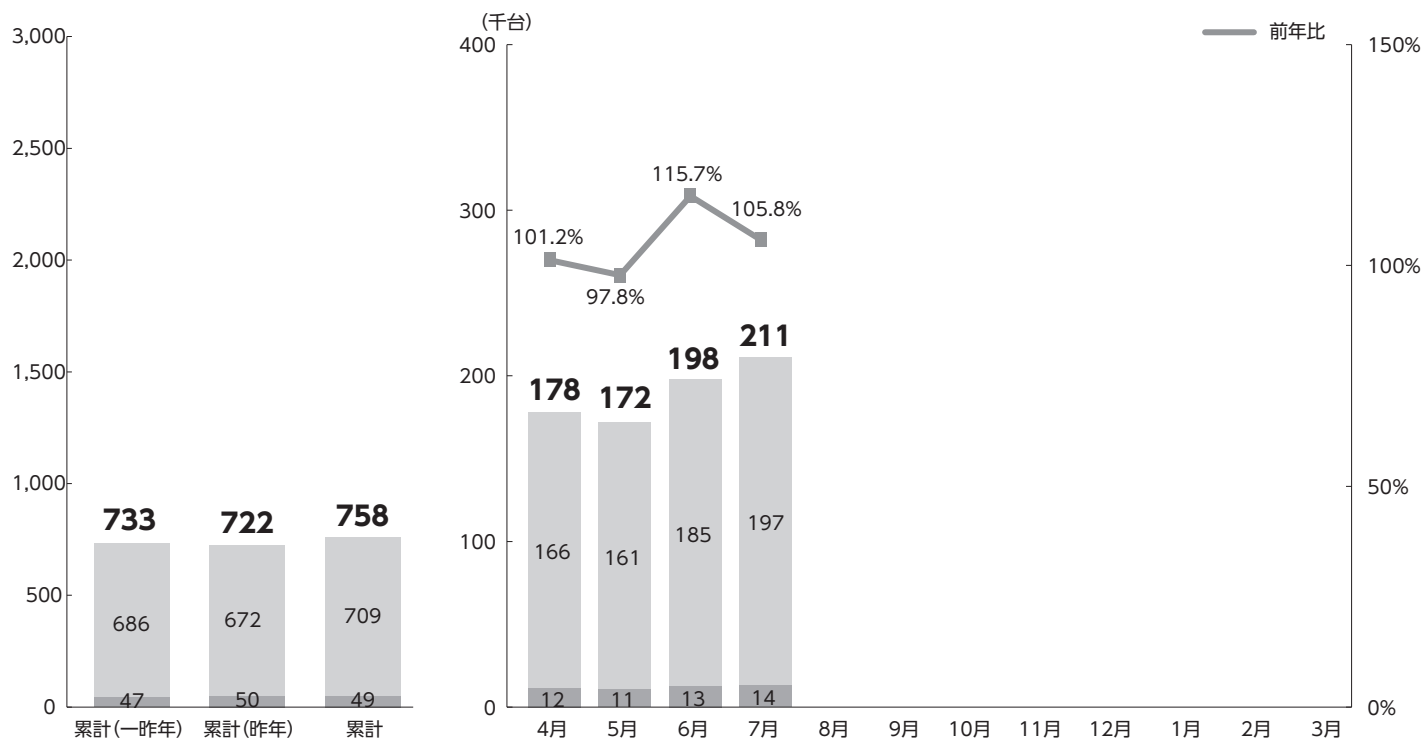
Q5 御社のPRをしてください！

日産車体(株)は商用車やプレミアムカー、特装車の開発から生産まで、ものづくりを担う完成車メーカーです。従業員一丸となって、多様化するお客様のニーズに応えた魅力ある高品質なクルマを世界中にお届けしています。

2025年度4月～7月 会員生産状況

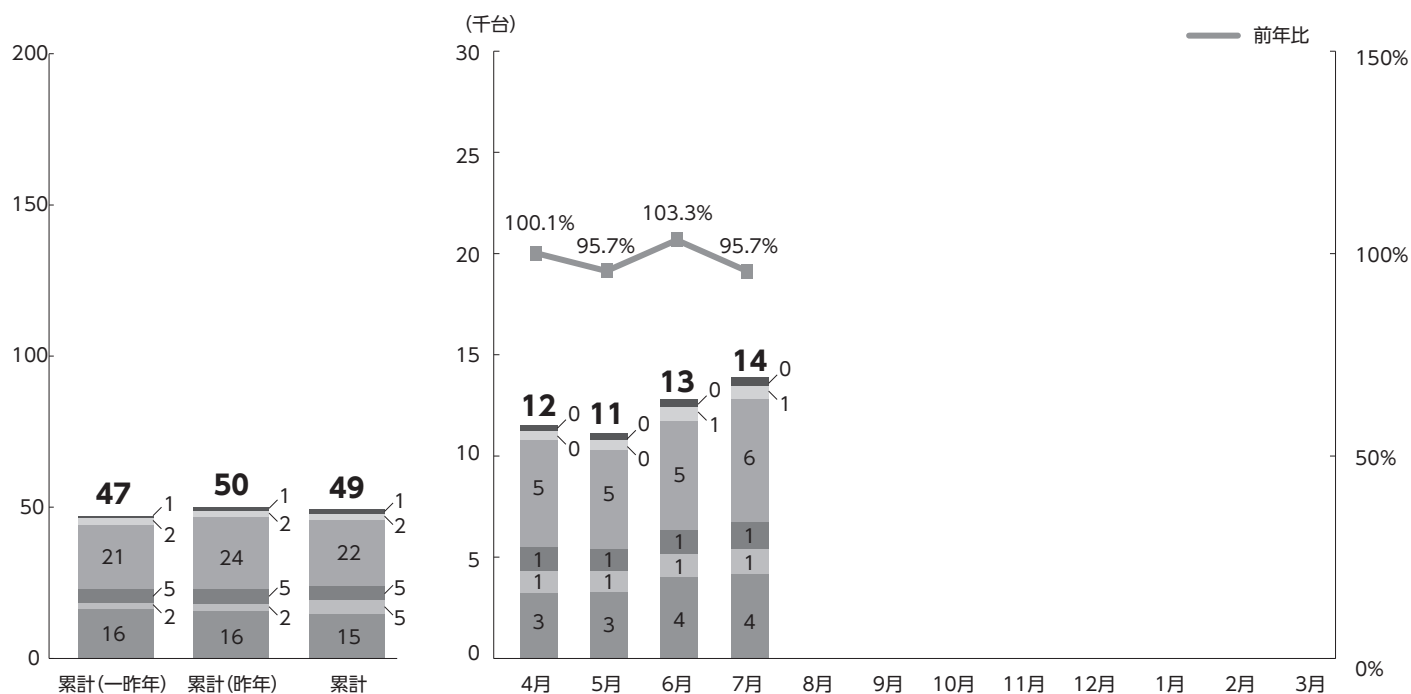
総合計

■ 非量産車 ■ 量産車(シャシメーカー標準トラック、小型、コムーターバス、委託生産の乗用・小型商用・軽)



非量産

■ 特装 ■ 特種 ■ 平ボデートラック (除 シャシメーカー標準トラック) ■ パン ■ トレーラ ■ 大中型バス (除 小型、コムーターバス)



※台数は小数点以下四捨五入

車体工業会会員生産台数の公表について

部会毎の生産台数等詳細の情報は当会ホームページをご覧ください(一部会員限定)。

<https://www.jabia.or.jp/production/>



編集後記

今号より、「NEWS特集」において、中央業務委員会によるコンプライアンスに関する情報展開を開始した。1回目は、公正取引委員会のHPを紹介している。わかりやすいパンフレットや相談事例集等、皆様にお役にたつ情報が掲載されているので、是非自社におけるコンプライアンス意識向上等にお役立ていただきたい。また、官公庁だより及び広告に、国土交通省自動車整備課作成の、自動車整備士人材の確保や育成を目的とした小学生向けのリーフレットを掲載した。「はたらく車」として、当会会員の生産する車両の紹介ページもあるので、是非ご覧いただき、車体工業会の会員会社は、こんな車を作っているということ、周りの方々に伝える手段のひとつとしてご活用をお願いしたい。

巻頭言は、5月の総会で、当会副会長に就任した石川新副会長(トヨタ自動車東日本(株)社長)にご投稿いただいた。副会長のみならず、環境委員会、広報委員会の委員長も兼務していただき、CN活動やホームページ、車体ニュース等による情報発信活動の指揮をとっていただいております、事務局としても心強い。

一方世の中に目を向けると、トランプ関税が、自動車においては15%と事前通告の25%に対し、大きく緩和の方向で決着した。当初の予想よりは改善されたが、景気後退のリスクは残り、予断を許さない状況であることには変わりがない。普段の生活でも輸入品の値上がりりが心配される。値上がり品目を注視し、備蓄等早めの対応も考えたいところ。

この夏は各地で「観測史上初の…」という言葉を目にすることが多かった。残暑も厳しくなることが予想されている。台風シーズンを迎える中、従来よりも被害が増大しているのは間違いなく、万一のための備えが充分か今一度見直すことも必要ではないか。

(小森)

表紙写真について

バン部会 (株)パプコ製

「EXEO WING Pro Edition」

パプコの「EXEO WING Pro Edition」は、ドライ仕様でありながらFRPサンドイッチパネルを採用することで、外気温の影響を抑え、熱中症対策として効果を発揮します。

耐衝撃性・耐摩耗性・耐候性にも優れており、キズが付きにくく、長期間にわたって美しい外観を保つことができます。

パネル面はフラットで美しく、車両の外観を活かした広告宣伝にも適しています。

さらに、補修や修理が少なく済むため、ランニングコストを抑えることができるのも大きな特長です。

加えて冷凍機を搭載すると、野菜の運搬などにも活用できる高い汎用性と実用性を兼ね備えたウィングボデーとなっています。



お知らせ

秋季会員大会 講演会のご案内

◆日 時： 2025年10月31日(金) 13:00～13:40

◆場 所： 有明セントラルタワーホール&カンファレンス 東京都江東区有明3丁目7-18

◆スケジュール： 13:00～ 開会・会長挨拶

13:10～ 講演会

13:40～ 閉会后、ジャパンモビリティショー2025見学

◆講演会の内容：テーマ 「(仮)効果的な組織・チームのための心理的安全性」について

講演者 株式会社ZENTech 石井遼介氏

この会報「車体NEWS」は、主として法令改正等含めた自動車車体にかかわる情報をとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,800部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販社、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

広告掲載会社

GMいちほら工業株式会社 ……表2
スリーエム ジャパン株式会社 ……表3
損害保険ジャパン株式会社 ……表4

車体NEWS
AUTUMN 2025 秋



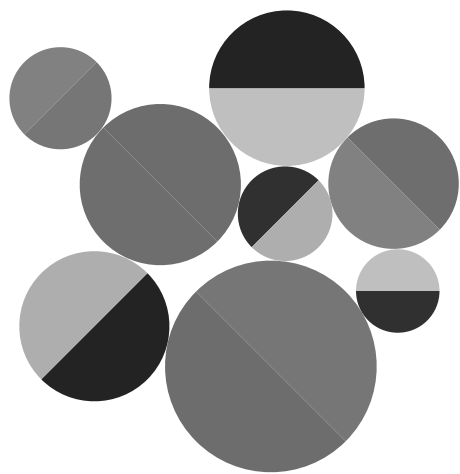
2025年9月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 小森 啓行



Japan Mobility Show



<https://www.japan-mobility-show.com/>

ジャパンモビリティショー2025

●一般公開日 **10月31日(金)～11月9日(日)**

●開催時間 10月31日(金) 13:30～19:00
11月1日(土)～9日(日)

平日 10:00～19:00

土曜／祝日 9:00～19:00

日曜 9:00～18:00

車体工業会 屋内ブースを設置

当会の取組み、はたらくクルマや
会員会社の紹介をパネルで展示

開催会場 東京ビッグサイト(東展示棟)



東京ビッグサイト駅へ

国際展示場駅へ

ご来場をお待ちしております!!

架装物の安全点検制度

架装物の定期点検で『SDGs』に貢献



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

GOALS



環境にやさしい未来をつくる働く車

未来の子ども達に美しい地球を

のこすため「豊かな環境保全」には

定期点検整備が必要です。

定期点検整備を実施した事を証明する

『架装物年次点検【済】』ステッカーです。

点検に
行こう

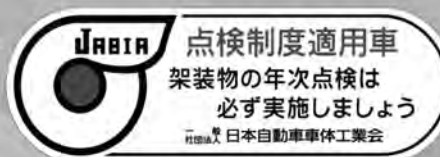
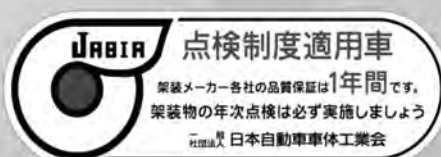


点検OK



安全・安心・信頼の証 ステッカー!!

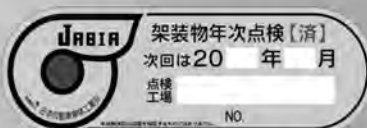
※ 新車時 『点検制度適用車』ステッカー



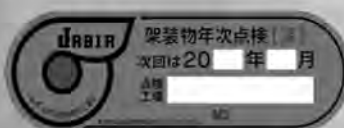
品質保証付き

点検制度適用車

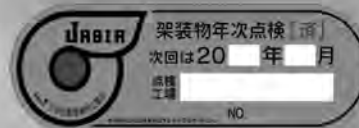
※ 点検時 『架装物年次点検【済】』ステッカー



2023 年 (黄色)



2024 年 (水色)



2025 年 (黄緑色)



一般
社団法人

日本自動車車体工業会

Japan Auto-Body Industries Association Inc.

中央技術委員会

点検整備推進分科会

<https://www.jabia.or.jp/>



ご存知ですか、このラベル。

環境にやさしい働くクルマに付いてます。

“環境基準適合ラベル”

環境基準適合ラベルは、架装物解体作業の容易化、再生資源の適正な処理を促進する
“環境にやさしい車体”であることを証明する車体工業会で制定したラベルです。



環境基準適合ラベル
ホワイトラベル

環境に配慮した
3つの要件

適合
要件

- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)
判断基準ガイドラインの作成・活用
- 製造者名、樹脂部品材料名の表示
- 解体マニュアルの作成・公開



新環境基準適合ラベル
ゴールドラベル

ホワイトラベルに
さらに3つの要件を追加

追加
要件

- + 車体製品部材のリサイクル可能率95%以上
- + 車体工業会における
「環境負荷物質自主取組み基準」
を満たしている
- + ISO14001やエコアクション21など
第三者機関による環境認証取得工場生産

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



私たちは持続可能な
開発目標 (SDGs) を
支援しています。



環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録され掲載されています。 https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_48.html



一般社団法人 **日本自動車車体工業会**
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階 TEL (03) 3578-1681 FAX (03) 3578-1684

詳しくはWebページをご覧ください。

JABIA

検索

www.jabia.or.jp





いのちを
支える
くるま

みんな知ってる? はたらく車

ささ
くらしを支える

くるま



ものを
運ぶ
くるま



ひとを運ぶ
くるま

工事でかつやくする
くるま



車の名前クイズ! 答えはうらを見ても

はたらく車^{くるま}を
支^さえます!

自動車整備士^{じ どう しゃ せい び し}

バッテリーは
元^{げん}気かな?

はたらく車^{くるま}のけんこうしんだん、こしょうを直^{なお}すよ

消防車^{しょうぼうしゃ}を
点検^{てんけん}するよ

A はたらく車
クイズの答え

- 1-救急車^{きゅうきゅうしゃ} 2-医療防疫車^{いりょうぼうえきしゃ} 3-パトカー^{しょうぼうしや} 4-消防車^{しょうぼうしや} 5-キャリアカー^{ゆうびんしゃ} 6-郵便車^{ゆうびんしゃ}
7-連節バス^{れんせつ} 8-観光バス^{かんこう} 9-ショベルカー^{しゃ} 10-ミキサー車^{しゃ} 11-クレーン車^{しゃ} 12-ダンプカー



MLIT

協力:

警視庁、東京消防庁、一般社団法人日本自動車車体工業会、
一般社団法人日本産業車両協会



一般社団法人
日本自動車
車体工業会



一般社団法人
日本産業
車両協会

防ごう大型車の車輪脱落事故

お

おとさめ のための 点検整備

事前の正しい点検が大きな
事故を未然に防ぐ唯一かつ
最善の手段です。

だめだよ

メンテしなくても
大丈夫です!!
がんばります!!



と

トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる
規定トルクの締め付け、
タイヤ交換後の増し締めの実施。



さ

さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面、
ホイールナット当たり面、
ハブの取付面、ホイールボルト、
ナットの錆やゴミ、追加
塗装などを取り除きます。

まだ使える!!



もう
あぶない
ですよ



な

ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、
ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイル
など指定の潤滑油を薄く塗布し、
回転させて油をなじませてください。



オイルぬって
くださる



い

いちにち一度は ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い
左後輪を中心に、ボルト、ナットを
目で見て手で触るなどして点検します。

しまっ
ていこう



©くまね五房



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDTトラックス)
全日本トラック協会 日本バス協会 全国自動車工業協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会
全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



水没したトレーラ取り扱いについて

集中豪雨などで水没したトレーラは、ホイールベアリングの錆び付きやブレーキの引きずり等により、脱輪や火災に至る恐れがありますので、以下の「水没トレーラ点検箇所一覧表」をご参照し、必ず点検・整備を行ってください。



水没イメージ

水没した部品の事例



アクスルナット



ホイールベアリング



スピンドル



ハブ内部



ブレーキチャンバ

水没トレーラ点検箇所一覧表 (一般的な形状のトレーラ)

点検箇所			点検内容	
			車軸まで浸水	荷台まで水没
制動装置	サービスブレーキ	エアカプラ(黄&赤)	—	分解、清掃、給油
		リレーエマージェンシーバルブ		
		エアタンク		分解、清掃
		ブレーキチャンバ		
		配管		
	駐車ブレーキ	駐車ブレーキ操作バルブ	—	交換
		スプリングブレーキチャンバ	交換	
		配管	分解、清掃	分解、清掃
	ABS装置	モジュレータ	—	交換
		車輪速センサ		
		配線		分解、清掃
		配管		
走行装置	機構部分	オートスラックアジャスタ	分解、清掃、給油	分解、清掃、給油
		Sカム及びシャフト		
		ブレーキシュー&ライニング		
	アクスル	ブレーキドラム	分解、清掃	分解、清掃
		スピンドル	分解、清掃、給油	分解、清掃、給油
		ベアリング	交換、給油	交換、給油
		ハブオイルシール	交換	交換
緩衝装置	パネサス	スプリング	—	分解、清掃
		ロッカーアーム及びピン		分解、清掃、給油
		トルクロッド	清掃	分解、清掃
	エアサス	ベローズ	—	交換
		各バルブ		
		ハイトコントロールレバー		
		配管		分解、清掃
		ショックアブソーバ	清掃	交換
	リフトアクスル	エアチャンバまたはベローズ	分解、清掃、給油(チャンバ)、清掃(ベローズ)	分解、清掃、給油(チャンバ)、交換(ベローズ)
		配管	分解、清掃(チャンバ)、-(ベローズ)	分解、清掃
電気装置	灯火器	7極ソケット	—	交換
		車幅灯		
		方向指示器		
		側方灯		
		リヤコンビネーションランプ		
		後退灯		
		番号灯		
		配線		
その他	連結装置	キングピン	—	清掃、給油
	補助脚	本体	清掃	分解、清掃、給油
	車枠及び車体	フレーム	—	清掃
	架装物	架装物	仕様による	仕様による

トレーラ火災にご注意!

その火災
整備不良かも!?



この画像の動画はこちらから



動画二次元コード

出典：国土交通省 YOUTUBE チャンネル
(トレーラ火災の原因と防止について)



トレーラの装置別不具合

制 動

ブレーキ・チャンバ、スプリング・チャンバ
ダイヤフラムの劣化、スプリングの折損、
ブレーキ・ホースや継ぎ手の劣化

リレー・エマージェンシ・バルブ

エアフィルターの目詰まり、パッキン類の劣化
不純物や水分凍結によるリレー部目詰まり

オートマチック・スラック・アジャスタ、ブレーキシュー
ゼロ点調整不良、リターンスプリングの劣化
シューベアリング部の潤滑不良

走 行

車軸、ホイール、ハブ

ベアリング部の潤滑不良、
アクスルナットの締付トルク不良

エア圧力低下
ブレーキ引き摺り

ブレーキ戻り不良
ブレーキ引き摺り

回転不良
摩耗

発 火

適切な点検整備を行うことが車両火災の防止に有効です



一 般
社団法人

日本自動車車体工業会 トレーラ部会
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

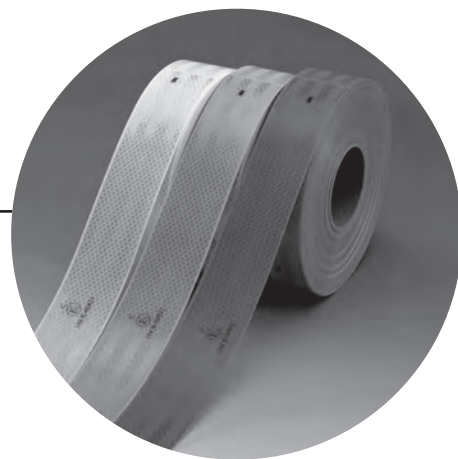
美しさと安全性の両立

Beauty & Safety スリーエムからの提案です。

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング(線状再帰反射材、輪郭再帰反射材等)が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した(※Eマーク付)3MTMダイヤモンドグレードTMコンスピキュエティ反射シートを提供しています。

また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカルTMフィルム、コントロールタックTM コンプライTM グラフィックフィルム、プリントラップフィルム等の施工性に優れた製品を提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。



3MTMダイヤモンドグレードTM
コンスピキュエティ反射シート

3MTMプリントラップフィルム IJ280

3MTM ダイヤモンドグレードTM コンスピキュエティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果を備えたプリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。(当社ガイドライン通りに貼付された場合)。

事故減少に対するコンスピキュエティ反射シートの有効性に関わる研究報告

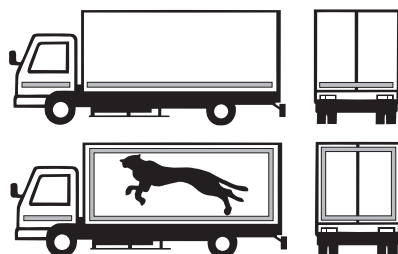
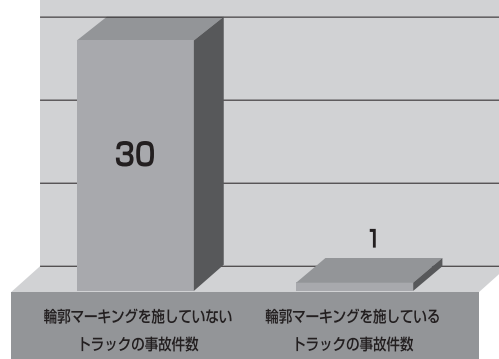
■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”(コンスピキュエティ)不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

■事故件数対比



Eマークとは:国際的な車両型式認証の相互承認制度(IWVTA)に基づき、協定規則の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入り製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 第55条の2」に定められている基準に適合している製品です。



スリーエム ジャパン株式会社

コマーシャルブランディング&トランスポーテーション営業本部

本社 〒141-8684 東京都品川区北品川6丁目7番29号
URL <https://www.mmm.co.jp>

3M

その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいというリクエスト。

規約がわかりづらいといった、ご指摘。

毎日、お客さま一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。

毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。

そうやって、私たちが向き合っているのは、

目の前のお客さまの安心だけではなく、

未来のお客さまの安心でもある。

これからも、ずっと。

お客さまの声に向き合い、進化をつづけていく。

